久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

PRESS RELEASE
2024. 9. 15. ver.

日本が見たドニ｜ドニの見た日本

モーリス・ドニ（1870-1943）は 19 世紀末のフランスで、20 世紀美術への橋渡し役を果たした前衛グループ「ナビ派」（ヘブライ語で「預言者」の意）の中心的存在でした。仲間であったボナールやヴュイヤール、ランソンらとともに新しい絵画をめざし、また、美術と建築、演劇、文学、音楽が一体となるような創作活動を実践しました。ドニは文筆にも優れ、彼の美術評論は来るべき抽象絵画を予告するようだとも言われました。

ドニや仲間たちはジャポニスムの時代を背景に若い頃から日本美術に憧れ、逆に、彼らの影響は遠く日本にも及びました。たとえば、梅原龍三郎のように、「ナビ派の学校」であるアカデミー・ランソンに通い、ドニから直接指導を受けた日本人画学生もいました。

本展ではドニの生涯のそれぞれの時期に、彼と日本の美術がどのようにかかわってきたのかを約 130 点の作品で辿ります。ドニの生没年は明治から戦中、すなわち日本の近代に重なります。日本美術に魅了され、日本人留学生を励まし、戦前から日本のコレクターたちに作品を収集された「一人のフランス人画家」という鏡に映る日本洋画を見つめること、そして、遠い国に生きたこの画家を「日本の美術」という鏡を通して考えることで、出会いから幸福であったドニと日本の関係について、両面から光を当てたいと思います。

展覧会名	日本が見たドニ｜ドニの見た日本
会期	2024 年 11 月 2 日（土）～2025 年 1 月 13 日（月祝） 休館日：月曜日（11 月 4 日、1 月 13 日は開館）　年末年始（12 月 29 日-1 月 2 日）
作品数	約 130 点 資料 30 点　*展示替を行います　前期：~12 月 8 日 / 後期：12 月 10 日~
会場	久留米市美術館
主催	久留米市美術館、読売新聞社、テレ Q
後援	久留米市教育委員会
特別助成	公益財団法人石橋財団
入館料	一般 1,200 円（1,000 円）　シニア 900 円（700 円）　大学生 600 円（400 円） 高校生以下無料　※石橋正二郎記念館もご覧いただけます。※前売券 900 円あり、障害者手帳等をご持参の方及びその介護者 1 名は無料。 （　）内は 15 名以上の団体料金、シニアは 65 歳以上。
開館時間	10:00–17:00（入館は閉館の 30 分前まで） * 11 月 23 日は 19:00 まで、12 月 21 日は 18:00 まで延長開館
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で 20 分、在来線快速で 40 分 福岡（天神）駅より西鉄久留米駅まで特急で 30 分、急行で 40 分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館（公益財団法人久留米文化振興会）　担当：佐々木、井須（広報） 〒839-0862　福岡県久留米市野中町 1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134 https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/

※開催情報に変更がありました場合には、随時、当館ホームページ、SNS 等でお知らせいたします。

展覧会の見どころ

１．モーリス・ドニと黒田清輝　同世代の若者たちの運命的な交錯！
２．ナビ派の学校 アカデミー・ランソンで学んだ日本人たち！
３．100 年ごしの再会！　名画《バッカス祭》が展示室に並ぶ
４．ドニの《アルミードの園》が展覧会に初出品！　幻の画家・小柴錦侍の代表作も

第１章　ジャポニスムの申し子｜「ナビ派」の誕生に居合わせた日本人

日本趣味が流行していた 19 世紀末のパリ。ドニやボナールら若い芸術家たちがグループ「ナビ派」を結成しました。「ナビ」とは「預言者」を意味し、平坦な色面や装飾性、大胆な構図を武器に、彼らは新しい時代を切り開こうとしました。この章では、ナビ派の誕生と成長、そして、同じ時代のパリでドニのデビューを目撃した画学生・黒田清輝らとのつながりを見ていきます。

-1 プロローグ～ナビ派の揺籃
-2 ドニとナビ派の仲間たち
-3 ファースト・コンタクト～ナビ派の誕生に居合わせた日本人
-4 アール・ヌーヴォーの渦の中で

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

第２章　アカデミー・ランソン｜パリの画学生～明治・大正・昭和

美術が大きく変化していく 20 世紀、ドニとナビ派の仲間たちは彼らの学校である「アカデミー・ランソン」を開きます。ルノワールから「良い学校がある」と勧められた梅原龍三郎をはじめ、少なからぬ留学生がドニや後継者であるビシエールの教えを受けました。この章では、留学生たちの変遷を追うとともに、ナビ派との類縁性が感じられる大正期の日本の美術を紹介します。

-1 アカデミー・ランソンでドニに学ぶ～第一次世界大戦まで
-2 大正への経脈
-3 アカデミー・ランソンで学ぶ～エコール・ド・パリの時代

(7)

(8)

(9)

左）福島金一郎《夏休み》1936 年頃
勝央美術文学館

(10)

(11)

第３章　宗教芸術家として｜そして彼の絵は海を渡る

生涯を通じて敬虔なカトリックだったドニは、第一次世界大戦後の 1919 年にアトリエ・ダール・サクレを設立。宗教画の復興を目指すとともに、壁画装飾など公共の仕事にも、いよいよ精力的に取り組みました。ちょうどこの頃、絵画を収集する日本人コレクターが登場します。彼らが持ち帰ったドニの作品は 1920 年代から国内で展示され、それらは国内でも指折りの歴史ある美術館に収蔵されています。

-1 海を渡る絵画
-2 祈りの絵画
-3 エピローグ～ナビ派回帰

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

上）モーリス・ドニ《ベンガル虎 バッカス祭》1920 年
新潟県立近代美術館・万代島美術館

関連イベントのご案内

モーリス・ドニ《『デペーシュ』紙》1892 年
京都工芸繊維大学美術工芸資料館(AN4884)
[後期展示]

講演会

「モーリス・ドニと日本：黒田重太郎を中心に」

2024 年 11 月 30 日（土）14:00-15:30（開場 13:30）

講師：稲賀 繁美 氏（京都精華大学教授）

会場：美術館 1 階多目的ルーム　定員：50 名（先着順）

美術講座

「近代洋画の並走者としてのモーリス・ドニ」

2024 年 12 月 14 日（土）14:00-15:30（開場 13:30）

講師：佐々木 奈美子（担当学芸員）

会場：美術館 1 階多目的ルーム　定員：50 名（先着順）

映画鑑賞会（要展覧会チケット・半券可）

「カラミティ」（2020 年、フランス・デンマーク、82 分）

2025 年 1 月 4 日（土）13:00-/15:30-(開場各 30 分前)

会場：石橋正二郎記念館 2 階多目的ルーム 2　定員：各回 50 名

入場無料（要展覧会チケット・半券可）

ギャラリートーク（要展覧会チケット）

●担当学芸員によるギャラリートーク（約 50 分）

2024 年 11 月 23 日（土・祝）17:30-「世紀末パリを中心に一黒田清輝とドニ」

2024 年 11 月 24 日（日）14:00-「ベル・エポック一梅原龍三郎とアカデミー・ランソン」

●週末ギャラリートーク（約 20 分）

第 1・3 日曜 14:00-　当館学芸員による

第 2・4 土曜 14:00-　ボランティアによる　*12 月 14 日はのぞく

美術館からのプレゼント

----

(1) 開館記念日　無料入館日

2024 年 11 月 19 日（火）10:00-17:00

年に一度の展覧会を無料でご覧いただける日になります。

(2)プレママ＆キッズデー

2024 年 12 月 23 日（月）10:00-15:00

小さなお子さんと、未来のママたちを休館日にご招待します。

※妊娠中の方、または、未就学児を同伴する保護者１名様の観覧料が無料になります。

妊娠中の方は母子手帳をご持参ください。

(3) ペア鑑賞デー

12 月 24 日（火）・25 日（水）10:00-15:00

二人連れのお客様に、日本庭園を望むカフェ＆キャラリーショップ

楽水亭のコーヒーチケットをプレゼントします。

※楽水亭のカフェ営業時間 11:00-17:00（オーダーストップ 16:30）

コーヒーチケットは展覧会の会期終了日まで使えます。

＾＾＾

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
7. 掲載見本を必ず 1 部お送りください。